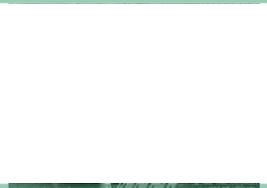


若者の地方体験交流 募集概要

きたかたし
福島県喜多方市（人口：45,664人）

体験種目：農林漁業体験



喜多方ワーキング・ホリデー Working Holiday KITAKATA

蔵とラーメンのまち喜多方
市で

ありのままの農家生活を
体験してみませんか？



（体験内容等）

- ・農家民泊及び農業体験
- ・農業体験は、季節や希望により体験内容を決定

（受入期間） 原則 2泊3日以上 1週間以内

（最寄りの交通機関・所要時間）

JR磐越西線 喜多方駅から徒歩15分

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 農作業に真面目に取り組める方
- 応募締切 随時受付※指定の参加申込書を下記担当へ郵送（FAX、メール）してください。
- 費用負担 現地までの交通費：自己負担、宿泊費・食事代：原則負担なし
- 宿泊施設 農家民宿
- 食 事 受入農家から提供
- その他 詳しくは市ホームページをご覧ください。

（担当者から一言）

福島県の北西部、会津盆地の北部に位置する豊かな自然に囲まれた喜多方市。全国区の知名度がある喜多方ラーメンをはじめとして、絶品のそば、11蔵元がある日本酒、アスパラガスやお米といったおいしい食べ物がたくさんあります。しだれ桜やひまわりなど、季節の花々がみなさんをお出迎えします。ありのままの農家生活を体験して、喜多方暮らしを満喫してください。

（お問合せ先）

団体名・担当部署・担当者名 喜多方市・地域振興課・小林浩紀

TEL 0241-24-5306 E-mail chiiki@city.kitakata.fukushima.jp

URL : <https://www.city.kitakata.fukushima.jp/site/iju-info/120.html>



若者の地方体験交流 募集概要

だてし
福島県伊達市 (人口: 59,114 人)

体験種目: 就業体験
暮らし・イベント体験



地方での保育職に関心のある 関東圏在住の学生の皆さん!

東京からわずか2時間!! 仙台市内にも1時間程度で
アクセス可能です! 都会暮らしを離れて、地方で、
子どもたちに囲まれながら働いてみませんか?

『来て だて』保育職パッケージ事業

①就業体験等への活動支援金: 上限5万円まで補助します!

福島県外の大学等に在学する方(伊達市内から通学している方を除く。)で保育職を
目指している方に対し、教育・保育施設等※1での就業体験等※2の活動経費※3に対
して補助します。

対象者: 福島県外の大学に在学し保育職を目指す学生(伊達市内からの通学者は除く。)
内 容: 市内に3日以上滞在し、教育・保育施設等※1での就業体験等※2、
及び伊達市移住コンシェルジュと地域の交流活動等に半日以上参加。
補助額: 市内での活動経費※3 に対して、活動経費の2/3以内で、上限5万円。



広い園庭での保育環境や無料で利用できる屋内子ども遊び場などの子育て環境施設や
あなたが興味ある内容に添って、市内交流活動を移住コンシェルジュが案内します。

②就職内定者への授業料支援金: 上限70万円まで支給します!

伊達市内の教育・保育施設等※1に就職内定した、福島県外の保育士養成校または幼稚園
教諭養成課程に在学する方(住民票が県外の方)に対し、卒業年度分の授業料相当分を
奨励金として交付します。

対象者: 市内教育・保育施設等※1に就職内定した、福島県外の保育士養成校または
幼稚園教諭養成課程の大学等に在籍する学生(住民票が県外にあること)
要 件 ・卒業する年度末までに市内に住民票を異動し、転入した日から3年間以上
定住する意思があること。(3年未満で市外転出した場合は、奨励金の返還。)
・転入する直前の県外市区町村に1年以上以上住民票を有していたこと。
・教育・保育施設等に翌年度4月末までに正規職員として採用され、原則として
3年以上継続勤務する意思があること。その他要件あり。
補助額: 学費のうち授業料相当額の2/3以内で、上限は70万円。

※1 保育所、認定こども園、幼稚園および地域型保育事業所。
※2 就業体験または就職活動を実施すること。
※3 往復交通費、宿泊費、レンタカー借上げ代や高速道路利用料金。(対象外経費あり)

保育職パッケージ事業のオンラインセミナーを随時開催予定!!

セミナー開催予定や事業詳細は、伊達市移住促進サイト「だてな暮らし」

主催: 福島県伊達市 市民協働課 ☎ 024-575-1177
〒960-0692 福島県伊達市保原町字舟橋180番地



(体験内容等)

- 就業体験: 保育職の就業体験
- 生活体験: 野菜の収穫体験等の体験活動

(受入期間) 通年受入可能、受入期間や日数は園と調整のうえ決定。

(最寄りの交通機関・所要時間) 福島駅⇒私鉄阿武隈急行⇒大泉駅(伊達市役所) 福島駅から約 30 分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 関東圏等の保育士養成校や幼稚園教諭養成課程に在籍する大学生※住民票が福島県外にあること
市内に3日以上滞在し、保育施設での就業体験と地域交流活動を行うことが条件です。活動は伊達市
移住コンシェルジュが計画の段階からサポートします。
- 応募締切 随時受入中。※指定様式にて事前相談が必要
- 費用負担 活動費(現地までの交通費、宿泊施設の宿泊費)の1/3は自己負担※2/3は市補助
- 宿泊施設 市内宿泊施設等
- 食 事 自己負担
- そ の 他 地方での保育職に興味がある方

(担当者から一言)

伊達市は東京から新幹線で約2時間、仙台圏へも約1時間程度と便利な田舎です。

「子育てこそだて」の子育て支援に力を入れている当市は、保育士を目指す学生の就業体験から移住後の生活までサポ
ートします。のびやかな子育て環境を体験してみませんか?

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 福島県伊達市市民協働課 渡辺光子
TEL 024-575-1177 E-mail kyodou@city.fukushima-date.lg.jp
URL: <http://www.city.fukushima-date.lg.jp/site/iju/>



夏秋期カスミソウ生産量日本一
の昭和村で、「かすみの学校」
に参加してみませんか？



(体験内容等)

○苗の植え付け、収穫、選別、荷造り、出荷などの作業

※カスミソウの生育状況や当日の天候により内容が変更になります。

(受入期間) 6月～10月までどなたでも何回でも。1日～4泊5日まで。本村としては、3泊4日以上を推奨。

(最寄りの交通機関・所要時間)

○(電車、バス)浅草(東武鉄道「リバティ会津」)～会津田島(バス)～昭和村 ※その他ルート有

○(車)東京～西那須野 I.C.～南会津町～昭和村(ナビ設定: 福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島 652)

(応募要件・注意事項)

○ 参加要件 高校生以上

○ 応募締切 研修希望日の3週間前までにお願いいたします。下記 HP からお申し込みください。

URL: <http://www.vill.showa.fukushima.jp/saibai.stm>

○ 費用負担 研修費無料(交通費等の経費を除く)3泊4日以上を希望される方には交通費の助成(上限1万円)

○ 宿泊施設 村内旅館・民宿 ※宿泊予約は当方でおこないます。

○ 食 事 朝食、夜食: 宿泊施設、昼食: 村内食堂(一食1,000円程度)

○ その他 農作業に適した服装、長靴、軍手、朝夜は冷えるので暖かい服装

(担当者から一言)

昭和村は赤ちゃんの吐息という別名をもつ「宿根カスミソウ」の夏秋期の生産量が日本一の村です。

新規就農も盛んで毎年20代、30代の就農者が増えており就農後の支援も充実しております。

田舎暮らしに憧れている方、都会の満員電車で疲れた方は是非昭和村の美味しい空気を吸いに来てください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署 福島県昭和村 産業建設課産業係

TEL 0241-57-2117 E-mail sangyou@vill.showa.fukushima.jp

昭和村 HP: <http://www.vill.showa.fukushima.jp/>



若者の地方体験交流 募集概要

しょうわむら
福島県昭和村 (人口 : 1,209 人)

体験種目：農林漁業体験
暮らし・イベント体験



四季の移り変わりを日々素肌で感じながら、からむし織を通じた昭和村の暮らしを体験してみませんか。



(体験内容等)

からむし (栽培から織りまでの一連の工程)、山村生活体験

(受入期間) 5月～3月までの約11カ月間。

(最寄りの交通機関・所要時間)

○(電車、バス)浅草(東武鉄道「リバティ会津」)～会津田島(バス)～昭和村 ※その他ルート有

○(車)東京～西那須野塩原 I.C.～南会津町～昭和村

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 満18歳以上、からむし織と山村生活に関心がある方、心身ともに健康な方
- 応募締切 希望する年度の前年10月～応募。下記HPからお申し込みください。
URL : <http://www.vill.showa.fukushima.jp/karamushiori.stm>
- 費用負担 研修費無料(光熱水費、燃料費(灯油等)については村が負担します。)
- 宿泊施設 体験中の宿泊は、原則村有施設での共同生活(個室)となります。
- 食 事 自炊。食費は体験生の自己負担となります。
- その他 体験期間中は、村内外の各種行事に積極的に参加していただきます。

(担当者から一言)

からむし織の一連の工程と山村生活を通じて、村人との交流を深め、昭和村の生活文化を知っていただくことを目的としています。

四季の移り変わりを日々素肌で感じながら、からむし織を通じた昭和村の暮らしを体験してみませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署 福島県昭和村 総務課からむし振興室

TEL 0241-57-2116 E-mail karamushi@vill.showa.fukushima.jp

昭和村 HP : <http://www.vill.showa.fukushima.jp/>



若者の地方体験交流 募集概要

いばらきまち
茨城県茨城町（人口：32,022人）

体験種目：農林漁業体験
その他



地元の有志により設立した「ひろうら田舎暮らし体験推進協議会」が中心となり、学生の田舎暮らし体験、農漁業体験等の受け入れを行っています。

都市部と農村部の交流、地域の住民の交流と活性化を目的とし、地域の資源である湖「涸沼（ひぬま）※」の恵みを活かした幅広いプログラムをそろえているのが特徴です。

※関東唯一の汽水湖。魚類、鳥類、植物等の豊かな生態系が見られ、ラムサール条約の登録湿地となっています。

（体験内容等）※体験メニューには、最少催行人数があります。

- 農業体験：野菜や果物の収穫体験、保存食作り体験など。
- 漁業体験：イカダ乗り体験、伝統漁業体験・見学など。
- 郷土文化体験：お雛子体験、花巻寿司作り、マイ箸造り、組子細工作りなど。
- 農家民泊：ご飯作り、家庭での交流など。

（受入期間） 通年（詳細につきましては、お問合せください。）

（最寄りの交通機関・所要時間）

公共交通機関：水戸駅下車 タクシー利用 水戸駅から約 20 分
車：北関東自動車道・東水戸道路 水戸南 IC から約 10 分

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 小学生以上の学生等
- 応募締切 通年（詳細につきましては、お問合せください。）
- 費用負担 現地までの交通費：自己負担（滞在中の移動は、御用意いたします。）
農家民泊体験料：1泊2食付 小学生まで 6,000 円、中学生以上 7,000 円
食事代：農家民泊体験料に含みます。※各種体験料は別途
- 宿泊施設 一般家庭での民泊（民泊新法に対応した家庭もございます。）
- 食 事 ①民泊される場合は、受入家庭の家族と一緒に調理していただけます。
②農漁業体験では、採れた野菜や魚を調理して食べることも可能です。
- そ の 他 相部屋（2人から4人程度）での宿泊が基本となります。
※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、体験交流等を行えない場合もありますので、詳細につきましては、お問合せください。

（担当者から一言）

茨城町の地方体験交流は、他地域で実施している農業体験に加え、汽水湖「涸沼」を活かした漁業体験、郷土料理や文化を取り入れた郷土文化体験を用意しております。これまでもゼミや実践教育演習等で、多くの大学生や院生に御利用いただいておりますので、皆様のお越しをお待ちしております。

（お問合せ先）

団体名・担当部署・担当者名 ひろうら田舎暮らし体験推進協議会 海老澤 律子（えびさわ りつこ）
TEL：090-9646-9775（直通） E-mail：info@hiroura.jp
URL：http://hiroura.jp/
Facebook：https://www.facebook.com/hirourainakagurashi/



若者の地方体験交流 募集概要

あしかがし
栃木県足利市（人口：142,985人）

体験種目：地域づくり活動
農林漁業体験
暮らし・イベント体験



（体験内容等）

- ・各種フィールドワーク（映像のまち、アート、里山くらし等）
- ・地域イベントの運営サポート（アートイベント「あしかがアートクロス」、門前マルシェなど）
- ・市内企業でのインターンシップ
- ・本市の移住定住に関する施策マーケティング調査

（受入期間） 令和3年4月26日～令和4年3月25日

（最寄りの交通機関・所要時間） JR両毛線足利駅ナカ（足利市移住定住相談センター）

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 18歳以上の学生の方。地域活動に興味があり、人とふれあうことが好きな方。
- 応募締切 令和3年4月26日以降、随時申し込み
- 費用負担 参加に係る諸経費に対して5,000円/回をお支払いします。
- 宿泊施設 市内の宿泊施設（ゲストハウス等）をご紹介します。
- 食 事 各自
- そ の 他 動きやすく、作業できる服装をご用意ください。

（担当者から一言）

東京から東武伊勢崎線で約1時間、都内からのアクセスもよい足利市。まちなかには歴史を感じられる古民家も残り、20～30代のUターン者の飲食店、カフェ、ゲストハウスなども増えています。春には駅から歩いて回れる範囲でアートイベント「あしかがアートクロス」を開催し、日本最古の足利学校門前では門前マルシェを定期的に開催しています。年間60本を超える映画をはじめとした映像制作のロケ地にもなっています。大正から昭和にかけて織物のまちとして栄え、今も中小企業ですが、個性的なモノづくりのまちです。地方に積極的に関わりたい、自分のスキルを活かしたい、そんな若い皆さんのフレッシュなパワーを足利で試してみませんか？

（お問合せ先）

団体名・担当部署・担当者名 足利市移住・定住相談センター「A i d a c c o（あいだっこ）」

TEL：0284-22-3434 E-mail：karariko.ashikaga@gmail.com

URL：http://www.kararikoturn.com



“ましこの暮らし” ご案内します

益子町は、「益子焼」と呼ばれる陶器の産地として国内外でその名を知られ、毎年春と秋に開催される陶器市は多くの観光客で賑わいます。

「益子焼」以外にも益子町にはいたる所に魅力がたくさん！なだらかに広がる田畑に小高い丘、春には水鳥が舞い降り、冬は薄氷に覆われる池、いちご、ぶどう、りんごなど里を彩る四季の恵み…。

初めて訪れる人にも、どこか懐かしさを感じさせる町です。



(体験内容等)

参加者の希望に合わせたオーダーメイド型の町内ツアーです。

例: 町内エリア見学、空き家・空き地バンク登録物件見学、公共施設見学、先輩移住者訪問、農業体験 等

(受入期間) 通年 (毎月第2火曜日・陶器市開催期間・年末年始(12/29～1/3)を除く)
実施希望日の9:00～17:00の間

(最寄りの交通機関・所要時間)
真岡鐵道 益子駅下車

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 益子町外在住で、益子町への移住を検討されている方
- 応募締切 実施希望日の3週間前までに電話、メール、FAX、郵送等にてお申し込みください。
- 費用負担 無料 (交通費、飲食代、体験費用等は自己負担)
- 宿泊施設 自己負担
- 食 事 自己負担
- そ の 他 ツアー中の移動は原則公用車とします。

(担当者から一言)

観光では知り得ない、益子町の新しい顔を発見できるツアーです。
参加者のご希望に沿った内容で町内をご案内いたします。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名

益子町 移住サポートセンター (道の駅ましこ内) 渡辺 麻美 (わたなべ まみ)

TEL 0285-72-5530 E-mail iju@m-mashiko.com

URL: <http://www.town.mashiko.tochigi.jp/page/page002177.html>



「花と歌舞伎と名水のまち おがの」で
農業や伝統文化に触れてみませんか？



① えごま生産者の太田さん



② 小鹿野町長と
地域住民
(ふるさと祭りにて)



② 地元の子ども
による神楽上演
(ふるさと祭りにて)

(体験内容等)

- ① 小鹿野町の集落支援員(元地域おこし協力隊員)が栽培する「えごま」の農作業: 作業内容は植えつけ・畑の手入れ・収穫等になります。農業に興味のある方の第一歩としていかがでしょうか。
- ② 「第45回ふるさと祭り(11/3)」の運営サポート: 両神地区の郷土芸能、ご当地名産品をフル体験できる1日です。スタッフとして関わりながら、郷土の「今」を感じてみませんか? 数千人が来場する一大イベントで、町役場職員や地域住民と一緒に、運営(テント設営や交通整理や検温など)を体験したい方を募集。ご参加者が自由に活用いただける、ブースの設定も検討しています。地方創生に興味がある人のほか、地方の行政サービスに興味がある人も大歓迎。

(受入期間)

- ① 2021年6月~11月の内、原則1泊2日~2泊3日(作業内容は農作業のスケジュールや当日の天候により異なります)
- ② 2021年11月2日(祭り前日)、3日(祭り当日) ※どちらかのみでもOK

(最寄りの交通機関・所要時間)

西武線「西武秩父駅」から町営バスまたは西武観光バスで35分「小鹿野町役場」バス停
秩父鉄道「秩父駅」から町営バスまたは西武観光バスで28分「小鹿野町役場」バス停

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 18歳以上の大学生、社会人
- 応募締切 原則として、希望する日の2週間前まで
- 費用負担 参加費用無料(交通費・宿泊費・食事代は自己負担です ②は昼食の弁当が出ます)
- 宿泊施設 町内宿泊施設(小鹿野町お試し居住も利用できます)

(担当者から一言)

移住者でもある私が、小鹿野町の魅力を味わっていただけたような
アクティビティを2つ、お勧めさせていただきます。
『百聞は一見にしかず』ピンときた方は、ご連絡ください。
皆さんの可能性を少しでも広げるきっかけになったら嬉しいです。



(お問合せ先)

団体名: 小鹿野町役場 担当部署: 総合政策課 地域おこし協力隊 担当者名: 本 奈代子
TEL: 0494-75-1238 E-mail: motonayo@town.ogano.lg.jp
URL: <https://www.town.ogano.lg.jp/>



若者の地方体験交流 募集概要

まなづるまち
神奈川県真鶴町（人口：7,103人）

体験種目：暮らし・イベント体験



年間を通じて気候が温暖で、海と山と緑に恵まれた風光明媚な町、真鶴町でお試し暮らしをしてみませんか。

（体験内容等）

お試し暮らし体験施設の名称は「くらしかる真鶴」です。「くらしかる真鶴」は、元々民間の住宅（空家）だったものが町に寄贈されたものであり、現在は公有物件です。真鶴への移住希望者がお試しで住むことができる施設です。期間中にここから通勤してみたり、物件を探したりすることが可能です。また、町が委託した団体による「町歩き」ではいろいろな町民に出会えるため、ただ住むだけではなく、町のコミュニティも垣間見ることができます。

※令和3年4月現在、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、利用受付中止中です。

（受入期間） 原則7日間

（最寄りの交通機関・所要時間）

東海道本線 真鶴駅下車 徒歩7分

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 町内への移住を希望・検討している方
- 応募締切 随時 下記 URL より「真鶴町お試し移住体験申込書」を印刷し、必要事項を記載・押印の上、下記担当者まで郵送で申し込んでください。
- 費用負担 4万円（お試し移住体験参加料）
- 宿泊施設 くらしかる真鶴（真鶴町真鶴453-5）
- 食 事 自己負担
- そ の 他 シャンプー、石けん、歯ブラシ、ゴミ袋、寝間着、トイレトーパーなどの消耗品はご自分でご用意いただきます

（担当者から一言）

真鶴町は、神奈川県西部に位置し、面積は7平方キロメートル、都心まで約100キロメートルの場所にあります。相模湾に向かって突出した真鶴半島の形状が、鶴が羽を広げた姿に見えることが「真鶴」の由来です。豊かな自然と美しい眺め、歴史と伝統文化に関心のある方をお待ちしています。

（お問合せ先）

団体名・担当部署・担当者名 神奈川県真鶴町 政策推進課
TEL 0465-68-1131



URL : <http://www.town.manazuru.kanagawa.jp/soshiki/seisaku/senryakusuishin/1187.html>

若者の地方体験交流 募集概要

とおかまちし
新潟県十日町市 (人口 : 50,983 人)

体験種目 : 就業体験

「新潟で暮らす」ことを理解できるプログラム。地方創生の取組の最前線を体験したい皆様の応募をお待ちしています！



(体験内容等)

- 農産物直売所の運営 ○棚田で作られるお米直販事業 ○学校給食の地産地消に関する業務
- 雪上アウトドアガイドの支援 ○農産物直売・郷土料理店舗運営 など

(受入期間) (未定)

(最寄りの交通機関・所要時間)

北越急行・JR 飯山線 十日町駅下車

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 新潟県内の大学・短大・専門学校・専修学校、高等専門学校等に在籍中の 18 歳以上の学生
- 応募締切 (未定)
- 費用負担 (未定)
- 宿泊施設 (未定)
- 食 事 (未定)
- そ の 他 (未定)

(担当者から一言)

十日町市は 10 年以上前から、移住をして地域おこし活動に取り組む「地域おこし協力隊」の受入を積極的に行っており、地域おこし協力隊の定住率は全国トップクラスを誇る、まさに地方創生の最前線の場所のひとつです。十日町市ならではの職業体験・暮らし体験・地元の人々との交流を通じて、地方創生の現場で多くの事を学んでいただければ幸いです。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 十日町市企画政策課 移住定住推進係
TEL 025-755-5137 E-mail t-kikaku@city.tokamachi.lg.jp
URL : (未定)

若者の地方体験交流 募集概要

じょうえつし
新潟県上越市（人口：188,973 人）

体験種目：農林漁業体験

おためし農業体験

上越市に来て農作業を体験してみませんか？関心のある分野の農作業を実際にやってみることで、自分が目指す農業のイメージがより鮮明になります。農家から直接指導を受けることで、農業の基本的な技術や知識が得られるほか、農業のコツや地域の特色なども聞くことができます。



（体験内容等）

農業体験（水稻：耕うん・代掻き・田植え・稲刈り など）
（園芸：剪定・収穫・選別・箱詰め など）
（果樹：剪定・収穫・棚補修 など）

（受入期間） 通年（2泊3日） ※体験日数は変更可

（最寄りの交通機関・所要時間）

北陸新幹線 上越妙高駅 下車 （東京駅から約 1 時間 50 分）

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 農業に興味のある方（新規就農希望者）
- 応募締切 実施日の3週間前まで（目安）
※体験したい分野を踏まえ、受入先農家などと相談するため、お早めにご連絡下さい。
- 費用負担 現地までの交通費：自己負担 ※補助制度あり
宿泊費：自己負担 ※補助制度あり
保険料：無料（市が負担します）
- 宿泊施設 参加者が宿泊施設を確保（市内宿泊施設のみ補助あり）
- 食 事 自己負担 ※2日目、3日目の昼食のみ受入先農家が用意
- その他 補助は市外在住の満50歳未満（中山間地域において実施する場合は満61歳未満）の方が対象

（担当者から一言）

農業に興味のある方に、どんな作業があるのか体験してもらい、上越市がどんなところなのか知ってもらう機会として使っています。ぜひお気軽にご活用ください。

（お問合せ先）

団体名・担当部署・担当者名 新潟県上越市 農林水産部 農政課 薩美 透（さつみ とおる）
TEL 025-526-5111（内線 1287） E-mail : nousei@city.joetsu.lg.jp
URL : <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/joetsu-agri-portal/nougyoutaiken.html>



ふるさとワーキングホリデー



(イメージ・PR 欄)

(体験内容等)

上越市に一定期間 (2 週間～1 か月間) 働きながら滞在し、地域行事への参加や先輩移住者らとの交流会、市職員による地域案内などを通して、上越市の暮らしを体験していただきます。

(受入期間) 通年 (2 週間～1 か月)

(最寄りの交通機関・所要時間)

北陸新幹線 上越妙高駅 下車 (東京駅から約 1 時間 50 分)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 地方移住に関心があり、働きながら地域と交流をしてみたい方
- 応募締切 下記の問合せ先までご連絡ください
- 費用負担 現地までの交通費 : 自己負担
宿泊費 : 自己負担 ※補助制度あり
市内移動のための交通費 : 自己負担 ※補助制度あり
食事代 : 自己負担
- 宿泊施設 市内宿泊施設等
- 食 事 受け入れ先の各事業所による
- そ の 他

(担当者から一言)

上越市の事業所で働きながら暮らしをじっくり体験できる事業です。田舎暮らしを体験したい、地域ならではの仕事をしてみたい、第二のふるさとを作りたい、そんなあなたの参加をお待ちしております。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 新潟県上越市 自治・市民環境部 自治・地域振興課
中山間地域振興・移住促進係 西條 仁晃

TEL 025-526-5111 (内線 1430) E-mail : jichi-chiiki@city.joetsu.lg.jp

URL : <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/furusato/furusatoworking.html>



“あなただけ”の移住体験ツアー



(体験内容等)

参加者の希望に合わせて行程を作りあげ実施するツアーです。例えば、農作業体験（田植え、稲刈り、そばの刈取りなど）、地域案内（地域の方や先輩移住者との談話、空き家見学など）、雪国体験（雪かき、雪掘り、スノートレッキングなど）などのコース例を参考に、ご希望の体験などを組み合わせた行程を作成します。

(受入期間) 通年（最大 2 泊 3 日）※年末年始を除く

(最寄りの交通機関・所要時間)

北陸新幹線 上越妙高駅 下車 （東京駅から約 1 時間 50 分）

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 県外に在住し、当市への移住をお考えの方など
- 応募締切 参加希望日の 20 日前
- 費用負担 現地までの交通費: 自己負担 ※補助制度あり
宿泊費: 自己負担 ※補助制度あり
食事代: 自己負担
- 宿泊施設 市内宿泊施設
- 食 事 行程による
- そ の 他

(担当者から一言)

移住を検討している、地域を体感し関わりを持ちたい、上越市のことを知りたい、そんなあなたのご希望に沿って実施するツアーです。まずはお気軽にご相談ください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 新潟県上越市 自治・市民環境部 自治・地域振興課
中山間地域振興・移住促進係 西條 仁晃

TEL 025-526-5111 (内線 1430)

E-mail: jichi-chiiki@city.joetsu.lg.jp

URL: <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/furusato/tour.html>



若者の地方体験交流 募集概要

じょうえつし
新潟県上越市 (人口 : 188,973 人)

体験種目 : 暮らし・イベント体験

(イメージ・PR 欄)



(体験内容等)

上越市の海・山・大地の豊かな自然の中で、農村の生活を体験いただき、地域で暮らす人々とふれあい、「ほんもの体験」を提供します。

- ・田植え、稲刈り、畑作業体験
- ・工芸、食体験
- ・民泊（ホームステイ）
- ・農村生活体験、雪国体験

(受入期間) 通年

(最寄りの交通機関・所要時間)

北越急行 ほくほく線 虫川大杉駅から車で最大 60 分程度

(最寄駅までの経路)

- ・北陸新幹線 東京駅～上越妙高駅、えちごトキめき鉄道 上越妙高駅～直江津駅、北越急行ほくほく線 直江津駅～虫川大杉駅（約 3 時間 10 分）
- ・上越新幹線 東京駅～越後湯沢駅、北越急行ほくほく線 越後湯沢駅～虫川大杉駅（約 2 時間 40 分）

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 民泊（ホームステイ）を希望される場合は学生に限ります。
- 応募締切 随時
- 費用負担 現地までの交通費：実費負担
宿泊費：実費負担
食事代：実費負担
- 宿泊施設 民泊家庭、旅館、ホテル
- 食 事 行程による
- そ の 他

(担当者から一言)

受入開始から 20 年を超える着地型観光です。教育旅行や大学の研修旅行、企業研修はもちろんのこと一般の方もお待ちしております。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 上越市産業観光交流部観光交流推進課
観光振興係 平林 朋久

TEL 025-526-5111 (内線 1386) E-mail kanko@city.joetsu.lg.jp

URL : <http://www.echigo-inakataiken.jp/>



若者の地方体験交流 募集概要

あ が
新潟県阿賀町 (人口: 10,343 人)

体験種目: 就業体験
その他



心をゆりうごかす体験

いまの私と未来の私をつなぐ

あなたの原点を創造できる町

阿賀町



この町で「いとなみ」と「コミュニティ」の体験をととして、人間らしさを感じ、不確実性に飛び込んでいくワクワク感を感じてみませんか？

(体験内容等)

○阿賀町ふるさとワーキングホリデー

就業体験: 酒造会社・農業公社・農産物加工製造・観光施設でのインターン

体験交流等: 産業見学・体験プログラム・祭事やイベントなどを通して参加者と地元の方が触れ合うプログラム

(受入期間) 例年 6 月 7 日から 3 月 18 日まで

(最寄りの交通機関・所要時間)

新潟駅⇒(磐越西線 所要時間 1 時間 15 分)⇒津川駅

(応募要件・注意事項)

○参加要件 18 歳以上県外在住の方

○費用負担 居住地から阿賀町までの交通費・滞在中の生活費・昼食

※滞在中の宿泊と食事(朝・夕)、交流プログラム参加費は町が助成

○宿泊施設 町内の温泉施設

○勤務時間等 受け入れ企業の勤務条件に従ってください。

○その他 参加状況及び受け入れ企業の都合により受入日を調整させていただきます。

コロナ感染拡大に伴う緊急事態宣言等により、受入を延期又は中止とさせていただく場合があります。

(担当者から一言)

人とのつながりや自身の好奇心や問題意識を基に訪れる場所を巡りながら、新たな価値観に触れ、未知なるものとの出会いを自ら作り出そうとする行動へと駆り立てる、そんな体験をしたい方をお待ちしております。わたしたちひとり一人のスペシャルな喜びを自分自身の手で仕込む楽しみを感じてほしいです。

(お問合せ先)

阿賀町ワーキングホリデー事務局(一般財団法人阿賀町観光協会) 担当: 新発田貴史

TEL0254-92-0220 E-mail office@aga-info.jp URL: <https://www.aga-wh.jp>

阿賀町 まちづくり観光課 観光商工係 担当: 江川里加 TEL0254-92-4766

E-mail kanko-shouko@town.aga.lg.jp



若者の地方体験交流 募集概要

富山県黒部市^{くろべし}（人口：40,733人）

体験種目：暮らし・イベント体験

富山県黒部市の里山地区
宇奈月町明日（あけび）地区に
ある豪農古民家を改修した
農村文化伝承館「山本家」を拠点に
田舎暮らしを体験してみませんか？

地域住民といっしょに、干し柿づくりや
かまど炊飯体験、里山まちあるきなど
のんびりとした田舎を体感できます。



地域住民とつくる干し柿づくり

（受入期間） 令和3年10月中旬から下旬
現時点で、令和3年10月23日(土)24日(日)の2日間を予定

（最寄りの交通機関・所要時間）
新幹線：北陸新幹線 黒部宇奈月温泉駅から車で10分
あいの風とやま鉄道：黒部駅から車で25分
富山地方鉄道：愛本駅から車で2分

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 3大都市圏居住の大学生で、人とのふれあいが好きな方
- 応募締切 令和3年10月8日
- 費用負担 宿泊費、食事代あわせて体験料として1人5,000円
- 宿泊施設 農村文化伝承館「山本家」
- 食 事 10月23日夕食、24日朝食、昼食 いずれも地域住民と自炊
- そ の 他 動きやすい服装

（担当者から一言）

古民家を改修した農村文化伝承館「山本家」は一度泊ってみればその良さが実感できます。
のんびり流れる里山の時間を感じてください。

（お問合せ先）

団体名・担当部署・担当者名 富山県黒部市総務企画部企画情報課 上島
TEL 0765-54-2115 E-mail kikakujoho@city.kurobe.lg.jp
URL : <https://www.kurobeiju.com/>



若者の地方体験交流 募集概要

となみし
富山県砺波市 (人口 : 47,986 人)

体験種目 : 暮らし・イベント体験



大学生の皆さん、ちょっと、砺波に来られまー。
ごっつおだいてあげるし、いーとこ連れてってあげっちゃ。
一緒に楽しもまいけ。待っとっちゃ！

(体験内容等)

大学ゼミ合宿などを支援します。方言調査が特にオススメ！(対象の話者として経験のある地元住人を紹介できます。)
○散居村の伝統的家屋【砺波暮らし体験施設 佐々木邸】で宿泊し、全国的にも珍しい伝統景観も学べます。
○伝統的な暮らしや文化を体験できます。(報恩講で出された伝承料理、地域住人との交流【B B Qや餅つきなど】)

(受入期間) 通年(年末年始除く。)※砺波暮らし体験施設「佐々木邸」を利用する。(予約は1日1団体)

(最寄りの交通機関・所要時間)

となみ散居村ミュージアム 北陸自動車道砺波 I Cより車で5分 J R 砺波駅からタクシーで5分
砺波市営バス 南部循環線 となみ散居村ミュージアム下車

(応募要件・注意事項)

○参加要件 大学のゼミ教室などを単位とし、先生及び学生などを対象とします。
○申込期限 おおむね実施期間の初日の1か月前までに、指定の参加申込書に必要事項を記入して提出してください。
○費用負担 宿泊者1人・1泊当たり 2,000円(最長6泊7日以内)
○その他 朝食と夕食は原則提供します。また、砺波市などの特色ある施設、場所などへ案内します。

(担当者から一言)

富山県の西部、砺波平野は、加賀百万石を支えた米どころであり、農家が戸一戸散らばる全国でも珍しい農村景観の散居村が今に残っています。家々も全国有数の広さがあり、その伝統的な民家を宿泊場所として提供します。
この宿泊場所をベースに、散居村の歴史や展望台からの圧倒的な景観、砺波といえば「チューリップフェア」に代表される球根栽培、「庄川峡」遊覧など、学びと楽しみが満載の企画があります。
特に、東西日本の中間位置にある砺波地方の方言は、面白い方言学習の場となっています。
「大学生の皆さん、ちょっと、砺波に来られまー。ごっつおだいてあげるし、いーとこ連れてってあげっちゃ。一緒に楽しもまいけ。待っとっちゃ！」この意味は、砺波にお越しになった時にお教えしましょう！

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 となみ散居村ミュージアム 島田
TEL 0763-34-7180 E-mail info@sankyoson.com
URL : <https://sankyoson.com/>



若者の地方体験交流 募集概要

の み し
石川県能美市 (人口 : 49,910 人)

体験種目 : その他



休耕田を活用した山菜の栽培や森づくり活動を体験してみたい方を募集します。



(体験内容等)

- 受け入れ先の「能美の里山ファン倶楽部」の休耕田再生活動（山菜の栽培）や森づくり活動（散策路の整備や枯木の処理や草刈りなど）への参加と協力。
- 自然や環境保全に興味がある方にオススメです。

(受入期間) 5月中旬～12月中旬(未定) ※森づくり活動スケジュールに合わせて受け入れします。

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR 北陸本線 能美根上駅から車で 20 分
小松空港から車で 25 分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 一般、大学生及び大学院生
- 応募締切 随時
- 費用負担 体験料 1,000 円/回(未定)
- 宿泊施設 自身で市内宿泊施設を確保
- 食 事 各自 ※希望者にはお弁当の手配あり
- そ の 他 作業のできる服装と長靴を用意してください。

(担当者から一言)

能美市は石川県の南加賀地区に位置し、東西に広がる海・川・山に恵まれた自然豊かな地域です。
市内の里山エリアを保全し、持続可能な地域づくりに取り組む団体「能美の里山ファン倶楽部」の活動に参加していただきます。自然の中での活動に興味のある方をお待ちしております。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 能美の里山ファン倶楽部 事務局

TEL 0761-51-2308

E-mail info@nominosatoyama.com

URL : <http://www.nominosatoyama.com>



若者大歓迎！Welcome 集落で地域暮らしを体験してみませんか？



（体験内容等）

福井市では、都市に住む人材を積極的に受け入れる意欲のある集落を「Welcome 集落」として認定する事業に取り組んでいます。現在、個性溢れる5集落を認定しており、豊かな地域資源を活かした体験をしていただけます。

○Welcome 集落における地域活性化に向けた取組の手伝い

（幸せを呼ぶ「ライラック」の植樹活動、無住集落における森のようちえんの運営支援、伝統野菜の農作業 など）

○中山間地域での季節折々の暮らし体験

（春・夏：ワカメ干し体験、秋：伝統的な祭りへの参加、冬：雪かき体験、年中：地域の皆さんとの交流 など）

○過疎化が進む集落におけるフィールドワーク

（受入期間） 6月～2月頃（3日～1か月程度。詳細は参加希望者との調整により決定）

（最寄りの交通機関・所要時間）

J R北陸本線 福井駅(福井駅までのアクセス 東京から約3時間30分、大阪から約1時間50分、名古屋から約2時間)

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 特になし
- 応募締切 体験希望日の概ね1か月前まで
- 費用負担 参加費用：無料 ただし、現地までの交通費や滞在期間中の宿泊費、食費等の経費は自己負担
- 宿泊施設 Welcome 集落内の民宿、農家民宿、ゲストハウスなど
- 食 事 自炊
- そ の 他 参加希望者の意向を伺った上で受入れ先の Welcome 集落と具体的にマッチングをしています。

（担当者から一言）

Welcome 集落には、豊かな自然や伝統的な祭り、生活様式など、「ちょっと懐かしい」暮らしが色濃く残っています。集落を訪れ、住んでいる方との交流を楽しみながら、ちょっと懐かしい暮らしを体験してみませんか？

（お問合せ先）

団体名・担当部署・担当者名 福井市まち未来創造課 担当 酢谷・鈴木

TEL：0776-20-5230 E-mail：machi-m@city.fukui.lg.jp

URL：<http://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/mati/activity/welcome.html>



若者の地方体験交流 募集概要

ふくい
福井県福井市（人口：261,313人 2021.2.1現在）

体験種目：就業体験

福井の企業と人に
一度にたくさん出会える

**ふくいU・Iターン
サマーキャンプ**

※昨年の様子

企業訪問

ワークショップ

U・Iターン者との意見交換会

アクションプランの発表

経営者とのトークセッション

（体験内容等）

- ・市内企業を訪問しての企業見学や若手社員との座談会
- ・経営者やU・Iターン者との意見交換会
- ・就活のスキルアップにつながるセミナーや福井の企業や暮らしを知る講演会
- ・アクションプラン作成に向けたワークショップ、パネルディスカッション 等

（受入期間） 令和3年8月～9月中の5日間

（最寄りの交通機関・所要時間）

JR 北陸本線 福井駅

（東京から約3時間30分、大阪から約1時間50分、名古屋から約2時間）

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 福井で働くこと、暮らすことに興味のある学生（出身地、学年不問。ただし、就職内定承諾者は不可）
- 応募締切 開催の約3週間前
- 費用負担 参加費は無料。県外から参加の場合、福井駅までの往復交通費を補助（上限あり）
- 宿泊施設 市内ホテル、旅館等（一部補助あり）
- 食 事 自己負担
- そ の 他 詳しくは、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

（担当者から一言）

企業を訪問するだけでなく、意見交換会やワークショップ等のさまざまな体験をととして、働き方や生き方について考えることができるインターシップイベント！どんな仕事に就きたいのか。どんな人生にしたいのか。そんなモヤモヤした気持ちから解放され、就活への道が開けてくること間違いなし！

（お問合せ先）

団体名・担当部署・担当者名 ふくいU・Iターンサマーキャンプ実行委員会

事務局：福井市商工労働部しごと支援課 担当：宮本・津田

TEL：0776-20-5321

E-mail：shigoto@city.fukui.lg.jp

URL：https://fukui-shigoto.net



WORKSTAY

まるごと
オオノグラシ
してみませんか？

越前おおのワークステイ

体験プログラムのネライ

- 大野市での就業
- 人や文化・暮らしとのふれあい
- 季節の自然との関わり
- 大野市での農業体験
- 移住に向けてお試し暮らし

参加費 5,500 円（2泊3日～1泊）より
＊宿泊・飲食費は別途ご負担ください。

費用に含まれるもの
体験費用・域内移動費・傷害保険

宿泊費 3,000 円～7,000 円 程度
ゲストハウス・市内旅館・その他要問い合わせ
＊まんまるハウス利用の場合は無料

受け入れ先のご案内

自然体験・教育、アウトドアを仕事にしたい



奥越前まんまるサイト

受入期間

年中

業種

自然ガイド・地域コンサルタント
森林整備・体験活動補助

大野市の山間部に位置する六呂師を拠点に、大野の自然の豊かさや文化を伝えるための活動をする団体。人やアウトドアが好きな方を募集。

(体験内容等)

大野市で、カフェやゲストハウスなど、さまざまな仕事を体験できる「越前おおのワークステイ」。

今回ご紹介する受入先は「奥越前まんまるサイト」。大野の自然の豊かさや文化を伝える団体で、自然ガイドや自然体験教育、森づくりなどに取り組みます。自然やアウトドア、地域の活性化に関心のある方にオススメです。

(受入期間) 随時受入（2泊3日～）

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR 越美北線 越前大野駅

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 一般、大学生及び大学院生
- 応募締切 随時（下記 URL の申込書に記載の上、電話・メール等による）
- 費用負担 5,500 円（2泊3日）～ 現地への交通費、宿泊・飲食費は各自ご負担ください
- 宿泊施設 ゲストハウス・市内旅館等（移住体験施設「まんまるハウス」をご利用の場合は無料）
- 食 事 自己負担（ただし、作業中の昼食は受入先が負担）
- そ の 他 作業次第では、作業のできる服装を用意してください。

(担当者から一言)

幸福度 NO1 の福井県。その中でも特に自然が豊かで、水も食も美味しく、人もやさしいと評判の大野市。

ワークステイでは、観光から一歩踏み込んで、人や仕事に触れ合う大野「まるごと暮らし」を体験していただき、大野を深く知っていただくきっかけや、大野への移住を考えるきっかけになることを願っています。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 奥越前まんまるサイト 担当：坂本（さかもと）

TEL 0779-67-1117 E-mail ono.iju@goo.jp

URL: <http://okuetu-manmaru.com/guide/stay/>